



▲賞状・盾を手に、記念撮影を行う市原秀一会長（前列中央）

第16回環境保全型農業推進コンクールで美山有機農業推進協議会が農林水産大臣賞を受賞。3月16日に開催された近畿ブロック環境保全型農業推進シンポジウムで表彰され、事例発表が行われました。同協議会は無農薬無化学肥料での米づくりを実践されているグループや、農薬・化学肥料の使用に独自の基準を設け、野菜生産に取り組んでおられる農業者が中心となって活動されており、田んぼの生き物調査を通しての消費者との交流など、有機農業、環境保全型農業の普及拡大に努めておられます。

3 / 16 第16回環境保全型農業推進コンクール

## 「環境にやさしい農業を实践・普及」

第1部の生涯学習フェスタでは、ラジオパーソナリティーの谷五郎さんが「家族ってなんだ」をテーマに講演。「最近、家庭のしつけが悪いと言うが、昔も今も一緒。親の行動を見聞きして学ぶもの。育った環境による影響が大きい」と家族の話をユーモアを交えて講演し、会場いっぱい笑い声があふれました。第2部は民謡や詩吟などのグループが発表。書道や俳句、手芸などの作品も展示され、日ごろの練習や制作活動の成果を披露されました。



▲そろいの衣装をまとって息もぴったり（JA大正琴）

3 / 6 美山町生涯学習フェスタ・文化協会発表会

## 「日ごろの成果、ステージで熱演」

## 「本が好き！素直な感想文が優秀賞に」

2 / 4 青少年読書感想文全国コンクール

読書感想文全国コンクールで廣瀬奈実さん（吉富小4年）が書いた「こぶとりたろう」の感想文が、456万点の中から見事優秀賞を受賞しました。奈実さんの豊かな感受性を生かし、自分の考えを素直に書いた点が評価されました。「受賞を聞いたときは、びっくりして気絶しそうだった。本が大好きで、心が温くなる本から人を大切にすることなど、いろいろなことが学べる」と話してくれました。なお、本を読む楽しさを作り出す吉富小の取り組みも評価され、学校賞を受賞されました。



▲「こぶとりたろう」のお気に入りページを開く奈実さん

## 「いつも楽しい絵本をありがとう」

2 / 22 ジャトコ「童話と絵本寄贈」



▲おかあさんの誕生日プレゼントを用意したことを秘密にしたイトノはうそをついてしまう…

八木町室橋で自動車用自動変速機を製造するジャトコ株式会社から市内の幼稚園、保育所に童話と絵本が寄贈され、八木中央幼児学園で贈呈式を開催。総務部渉外担当の工藤さんから前田園長に手渡された「てんのおにまつり」と「トンノのひみつのプレゼント」の2冊を、早速3～5歳児に読み聞かせ。始めて見る本に子どもたちは興味津々に見入っていました。絵本のお礼に園児が絵や数字を書いた手作りカレンダーを贈り、工藤さんは「事務所に飾ります」と笑顔で受け取られました。